

健康

質問
50歳の男性です。職場の健康診断で肝機能が悪いと分かり、肝炎ウイルス検査を勧められました。酒はほとんど飲みません。検査を受けたほうがいいですか。肝炎ウイルスが肝臓がんの原因になると聞いて不安です。

肝がんの原因 肝炎ウイルス



立木 佐知子
徳大病院肝疾患
相談室看護師

回答 肝臓病はアルコールをたくさん飲む人のイメージがあるかもしれませんが、しかし、日本人の肝臓病の原因の80%は肝炎ウイルス、残り20%がアルコールや薬剤、脂肪肝などによるとされています。

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して肝臓の組織が壊れていく病気です。C型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスの持続感染から慢性肝炎の状態になると、炎症が続くことで肝臓の繊維化が進み、肝硬変や肝がんを発生しやすくなります。日本では肝がんの原因の約80%が肝炎ウイルスの持続感染といわれます。肝炎ウイルスに感染しているながら、自分では知らない人や治療を受けて

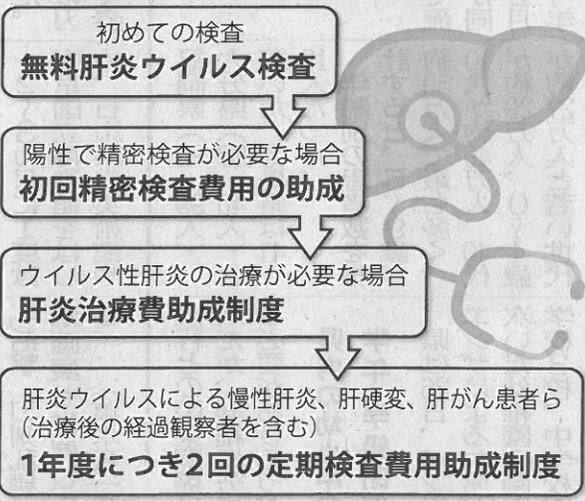
検査無料 まずは受診を



がんを予防する対策を進めています。

いない人が全国で130万〜200万人います。厚生労働省や社団法人日本肝臓学会は、検診で肝炎ウイルス感染の有無を調べ、慢性肝炎などの場合は積極的な治療で肝臓病を予防する対策を進めています。肝炎の検査と治療にはさまざまな助成制度があります。肝炎ウイルス検査は、採血だけで終わります。徳島県内では保健所や市町村の健診、県が委託している133（2017年12月1日時点）の医療機関で無料検査が受けられます。肝炎ウイルスが陽性だった場合は、肝疾患専門医療機関を受診してください。専門的な血液検査のほか、エコーなど画像による検査をします。県内には44の肝疾患専門医療機関があります。県のホームページなどで確認してください。

ウイルス性肝炎に関する医療支援



近年は、アルコール摂取量がほとんどない脂肪肝(非アルコール性脂肪肝炎)が原因で肝硬変、肝がんを発症するケースが増えています。糖尿病など生活習慣病との関連もあるようです。まずは医療機関を受診して検査することを勧めます。不安や疑問は徳島大学病院肝疾患相談室へ電話088(633)9002(平日午前8時半〜午後5時)に相談してください。

(第4土曜掲載)

治療の助成制度も充実

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
(平日午前8時半から午後5時まで)
